



CELEBRATING A PILLAR OF HUMAN RIGHTS

世界人権宣言、75周年を迎える

進め方のキホン

1

とりあえず聴く

何も見ずにナチュラルスピードで聴いてみる。アンカーは早口なので初めから全てわからなくてもOK! ひとまず耳を慣らそう。



2

英文を見ながら聴く

英文を見ながらナチュラルスピードの音声を聴いて音と文字の一致を確認する。難しい場合はゆっくりスピードを活用しよう。



3

繰り返して内容理解

英文・語注・日本語訳を参考にしながら、何度も音声を聴いてニュースの内容を理解しよう。ディクテーション、オーバーラッピングも効果的。

おすすめのリスニングトレーニング



Slash Listening



Dictation



Overlapping



ナチュラルスピード

オーストラリア英語



ゆっくりスピード（ポーズなし）

アメリカ英語

Celebrating a Pillar of Human Rights

France is celebrating the 75th anniversary of the [Universal] Declaration of Human Rights. President Emmanuel Macron urged the significance of supporting women, children, and the LGBT community at the palace in Paris where the draft was signed. The UN General Assembly proclaimed the Universal Declaration of Human Rights in 1948, establishing the groundwork for international human-rights law.

≫57 words (December 11, 2023)

人権擁護の柱となる宣言をたたえて

フランスでは世界人権宣言75周年の祝賀が行われている。(同宣言の)草案が調印されたパリ市内の宮殿(シャイヨー宮)で、エマニュエル・マクロン大統領は、女性と子ども、そしてLGBTコミュニティを支援することの重要性を強く訴えた。国連総会は、1948年に世界人権宣言を採択し、それによって国際的な人権法の基盤が確立された。

(訳 石黒円理)



英語 ▶ 日本語



日本語 ▶ 英語

語注の音声を「リストレ」やパソコンでお聞きいただけます。
ダウンロード方法はpp.132-133をご覧ください。

pillar

human rights

the Universal Declaration
of Human Rights

urge

significance

LGBT

《比喻》支柱、基盤

人権

世界人権宣言

～を強く訴える、熱心に説く

重要性、意義

= lesbian, gay, bisexual,
and transgender 性的
マイノリティーの、性的少

palace

draft

sign

the UN General Assembly

proclaim

establish

groundwork

数派の

宮殿

草案

～に署名する、調印する

国連総会

～を宣言する、公表する

～を制定する、確立する

基礎、土台



ナチュラルスピード

オーストラリア英語



ゆっくりスピード (ポーズ入り)

アメリカ英語

France is celebrating/

the 75th anniversary of the Universal Declaration of Human Rights.//

President Emmanuel Macron urged/

the significance of supporting women, children, and the LGBT community/

at the palace in Paris ^①where the **draft** was signed.//

The UN General Assembly proclaimed the Universal Declaration of Human Rights/

in 1948,/

establishing the groundwork for international human-rights law.// ^②

解説

- ① は後ろからthe palace in Parisを修飾している。
- ② はlawにかかる形容詞として機能しているため、ハイフンが挿入されている。

CNN音声のリスニングポイント

本当はカナ表記では正確な発音を表せないのですが、音の大体のイメージをつかんでいただくために、あえてカナ表記を用います。「聞こえ方」のひとつの目安にしてください。

アメリカ英語ではbagやmapの母音で、
オーストラリア英語やイギリス英語では
palmやspaの母音で発音される語がある。

1行目のFrance >>> [フ랑스]

5行目のdraft >>> [チュラーフト]

カナ表記の中の太字は、強く発音される部分を表します。
また、丸括弧に入っている部分は、普通、日本人の耳には
聞こえないか、実際に発音されていない音を表します。

アメリカ英語ではbagやmapの母音で、オーストラリア英語やイギリス英語ではpalmやspaの母音 (オーストラリア英語では、日本語の「アー」によく似た長母音) で発音される語があります。Franceやdraftのほかにも、after [アフター]、ask [アースク]、aunt [アアント]、bath [バース]、

can't [カント]、class [クラス]、fast [ファースト]、glass [グラス]、half [ハーフ]、laugh [ラフ]、mask [マースク]、past [パースト]、path [パース]、rather [ラーザー]、staff [スターフ]、task [タースク] などがあります。

解説 南條健助 (桃山学院大学国際教養学部准教授)

反訳にも挑戦してみよう! 日本語から英語に変換するとスピーキング力が鍛えられます。

フランスは祝っている /

世界人権宣言の75周年を。//

エマニュエル・マクロン大統領は強く訴えた /

女性と子どもたち、そしてLGBTコミュニティを支援することの重要性を /

その草案が調印されたパリ市内の宮殿で。//

国連総会は世界人権宣言を発表した /

1948年に /

(そして、それによって) 国際的な人権法の基盤を定めた。//

宣言75周年を迎えるも、理想には程遠い現実

世界人権宣言とは、1948年12月の国連総会で採択された、誰もが基本的人権を持っていることを表明した宣言のこと。第2次世界大戦中に人権侵害が横行したことを受け、二度とそのような惨禍を繰り返さないことを目指して制定された。同宣言は全30条から成り、教育や雇用、ジェンダーなど、さまざまな人権を包括している。この宣言に法的拘束力はないが、各国の憲法などに生かされている。

2023年12月に宣言が75周年を迎え、草案が採択されたパリで記念式典が開かれた。式典の期間中は、エッフェル塔に「HUMAN RIGHTS 75 YEARS」などの文字が投影された。一方で、今なお世界各地で人権を踏みにじるような出来事は数多く、宣言が掲げる理想からは程遠い現実がある。



世界人権宣言の起草に大きな役割を果たしたのが、フランクリン・ルーズベルト元米大統領の妻、エレノア・ルーズベルト氏だ(写真)